

まちの話題

広報誌で紹介した写真またはデータを希望者に提供します。

お申し込み 情報課広報広聴係

TEL23-3069



入学シーズン到来

まだ雪の残る肌寒い4月上旬、新しい風とともに職場や学校にも新人たちがやって来ました。町内の幼稚園、学校などでは独自色を生かした入学式が催されました。当別幼稚園は鉄北幼稚園と合併した最初の入園式、元気いっぱいの新入園児たちとは対照的に、はじめての集団生活となる我が子を不安げに見守る母親や、ビデオカメラの撮影に熱心な父親は、子どもたち以上に真剣な表情でした。

温かい手作りの入学式は蕨岱小学校。来年度から学校が統合となる

ため、今の校舎では最後の入学式となりました。子どもたちを近所みんなの子のように育てていると感じられる、地域と学校が一緒につくりあげた式で、在校生のお兄さん、お姉さんたちも温かく3人の新しい友達を迎えていました。

格調高い吹奏楽の演奏が流れる中で開催されたのは北海道医療大学の入学式。大学、大学院、専門学校、合計約700名の新入学生の、入学生代表者の宣誓を聴く表情は、医療など各分野でのスペシャリストを目指す気構えに満ちていました。また、キャンパス内では在学生によるサークルへの勧誘活動が行われていました。



消防本部が移転しました

(4月1日)



当別町、石狩市、新篠津村、(旧)厚田村、(旧)浜益村地域に居住する8万人の生命、財産を守っている石狩北部地区消防事務組合の消防本部が、この度、石狩湾新港で災害が発生した場合に備えるといった事情が考慮されて、4月1日に当別消防署内から石狩消防署内へ移転となりました。

この移転に伴い、新旧管理者による引継ぎ式が、3月31日に当別消防署内で行われ、泉 当別町長から田岡石狩市長へ消防本部旗が手渡されました。

地域で協力して犯罪を防ごう

(3月27日)



当別町防犯協会が犯罪の発生を未然に防ごうと町内会や学校、行政機関に呼びかけて「当別町地域防犯連絡会議」を旗上げしました。

昨年は、町内での犯罪発生件数が224件にのぼり、前年より27件も増加しています。

これからは、町内にある44の町内会を4つのブロックに分けて広域防犯連合会体制とし、小中学校や保育所、事業所など連携を強化して「防犯は地域一丸で」を合言葉に犯罪の無い安全安心なまちを目指します。

交通安全の願いを込めて

(4月6日)



道路の雪もすっかり無くなると、ドライバーの気持ちもゆるみがちになりやすいことから、町交通安全推進委員会の呼びかけにより、町内を走行するドライバーに対して交通安全を訴えるセーフティコールを実施しました。

栄町の国道275号沿線で、活動に参加した70名が200mにわたって沿道に立ち、スピードダウン、シートベルト着用といった交通安全の願いを込めた旗を振り、街頭啓発を行いました。

創立40周年 当別町商工会青年部

(3月25日)



当別町商工会青年部の創立40周年記念式典が、なみかわステラホールで挙行されました。

昭和40年に、地域と企業の発展を目指し結成されて以来、地域振興のために各種事業を展開してきました。ビアパーティーや親子盆踊りは、同青年部が毎年行っている代表的な催しです。

下段聡部長は「日々変化していく社会にあって、さらに団結して地域と商工業発展に努力したい」とあいさつしました。式典では、歴代会長に感謝状が渡され、祝賀会の席では、威勢の良い鏡開きで40周年を祝いました。

世界に貢献、当別高校国際協カクラブ



世界のために「できることを」「できる人が」「できる範囲で」活動を継続している当別高校国際交流クラブは、昨年11月、拓殖大学第1回国際協力アクションプログラムの「国際協力・国際理解賞」の優秀賞を受賞しました。

この度、同クラブはその副賞でカンボジアの小学校に井戸2本を寄贈しました。井戸の建設は、現地の子供や女性を水汲みから開放し、学習時間や仕事時間の確保をはじめ、経済的な安定と心の安定を与えることにつながります。

大丈夫ですか？ 災害時の対応

(3月28日)



あなたは、災害に遭遇したときの備えは大丈夫ですか？ 緊急時の連絡先や非常時の携行品などは、日頃から気にかけていても、いざという時には対応できないものです。

そんな不安を解消するため、当別町社会福祉協議会では、町内の避難場所や怪我の応急処置などを掲載した避難マップを作成しました。また、このマップを町内の全世帯に配布するため、約90人の町民ボランティアがマップの折り込みに協力しました。